

別表(1)

## 教育課程及び授業日時数

インテリアデザイン科

課 程			専 門 課 程			単 位 表 示			
学 科			インテリアデザイン科						
科 目			第1学年	第2学年	第3学年	第1学年	第2学年	第3学年	
一 般 科 目	1	コミュニケーション活動Ⅰ	60			2			
	2	コミュニケーション活動Ⅱ		60			2		
	3	コミュニケーション活動Ⅲ			60			2	
専 門 科 目	4	立 体 構 成	30			1			
	5	インテリアスケッチ	60			2			
	6	色 彩 学	60			2			
	7	デ ザ イ ン 史	30			1			
	8	表現演習Ⅰ(図学)	120			4			
	9	表現演習Ⅱ(図学)		90			3		
	10	造形演習(構造力学)		90			3		
	11	素材演習Ⅰ(建築材料)	120			4			
	12	素材演習Ⅱ(建築材料)		120			4		
	13	CAD・CGデザインⅠ(基礎製図)	180			6			
	14	CAD・CGデザインⅡ(基礎製図)		120			4		
	15	CAD・CGデザインⅢ(基礎製図)			90			3	
	16	デザインⅠA(設計製図)	120			4			
	17	デザインⅠB(環境工学)	120			4			
	18	デザインⅡA(設計製図)		180			6		
	19	デザインⅡB(一般構造)		120			4		
	20	デ ザ イ ン Ⅲ			60			2	
	21	空間デザインA(建築法規)		30				1	
	22	空間デザインB(建築生産)		30				1	
	23	空間デザインC(建築設備)			30			1	
	24	ポートフォリオ制作			30			1	
	25	プレゼンテーション技法			30			1	
	26	卒業制作(建築計画)			570			19	
	特 別 科 目	27	キャリアプランⅠ	30			1		
		28	キャリアプランⅡ		30			1	
		29	キャリアプランⅢ			30			1
30		産学連携プロジェクトⅠ	60			2			
31		産学連携プロジェクトⅡ		30			1		
32		産学連携プロジェクトⅢ		30			1		
33		産学連携プロジェクトⅣ			60			2	
34		研 修 旅 行		60				2	
35		ボランティア活動Ⅰ		60				2	
36		ボランティア活動Ⅱ			60			2	
37		インターンシップⅠ		60				2	
38		インターンシップⅡ			60			2	
39		チャレンジプログラムⅠ	30			1			
40		チャレンジプログラムⅡ		30				1	
41		チャレンジプログラムⅢ		30				1	
42	チャレンジプログラムⅣ			30			1		
43	チャレンジプログラムⅤ			30			1		
単 位 合 計 数						33	33	32	
年 間 履 修 時 間 数			990	990	960				
年 間 授 業 日 数			180	180	180				

注) 選択科目は2年次において60時間以上履修しなければならない

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動Ⅲ		演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	2	岩崎 京子
授業の目的・目標					
あらゆる活動を通して学科単位、クラス単位、学校単位でコミュニケーションを図る。					
授業の概要					
主に学校行事を行う活動授業とする。					
成績評価の方法					
1、平常点（主体的な授業参加度） 2、学習意欲（授業の取り組む姿勢）				平常点	50%
				学習意欲	50%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.	始業式		4		
2.	終業式		4		
3.	球技大会		4		
4.	東京研修		18		
5.	デザイン・ア・ラモード		18		
6.	3年生を送る会		4		
7.	他、学校行事、学科活動を含む		8		
8.					
9.					
10.					
11.					
12.					
13.					
14.					
15.					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)				年度	2020年度	
				科目コード		
時間数は45分換算						
授業科目名			授業形態		学科・コース	
CAD・CGデザインⅢ (基礎製図)			演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	90	3	大川 直樹 本野 智美 小沼 勝也 岩崎 京子	
授業の目的・目標						
動画を使ったプロモーションが制作できるようになる。						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Adobe動画編集系ソフトの基礎オペレーションを知る。</li> <li>・ 動画の企画、撮影、編集、書き出しまで一連の流れを知る。</li> </ul>						
成績評価の方法						
1. 動画の評価 2. 課題提出と学習姿勢					平常点	20%
					課題	80%
使用テキスト・教材						
プリントを配布						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. 動画表現研究～どんな校正手法があるかを知る。						2
2. 作品研究～特性とコンセプトからストーリーを探る。						2
3. 表現とストーリーをかけ合わせる。						2
4. 絵コンテで伝える。						2
5. 企画プレゼン～ディスカッション						2
6. 「インテリアデザイン×動画」の関係とは (活用事例の紹介)						4
7.						
8. Adobe Premiere Pro / After effects 基本操作						4
9.						
10. 「エクステリア模型 コンセプト動画」企画と撮影						4
11.						
12. 「エクステリア模型 コンセプト動画」編集と修正						4
13.						
14. 「エクステリア模型 コンセプト動画」完成と好評						4
15.						
その他				関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。						

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
CAD・CGデザインⅢ(基礎製図)②			演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	90	3	大川 直樹 本野 智美 小沼 勝也 岩崎 京子
授業の目的・目標					
<p>手書き製図で時間内に一定の図面を仕上げる手順等の勉強を行い、2級建築士製図試験対策としての製図の練習方法がわかるようにする。普段の暮らしや生活に必要な動作を意識をし、気づくことで、どのようにひとつひとつの生活動作や行為が住宅のインテリア設計に結びつくのかを考える。</p>					
授業の概要					
<p>2級建築士の製図問題を演習。住宅にあるそれぞれの空間がもつ機能や生活動作、要素を整理しながら、それらの空間のインテリアや寸法について考える。 現在暮らしの拠点にしている住宅を基に、行動分析をし、問題点を挙げ、改善点を考える。</p>					
成績評価の方法					
1. 出席状況、製図能力を採点。 2. 課題、発表(講義の内容を踏まえ、分析や提案ができているか) 3. 平常点(主体的な授業参加度) 4. 学習意欲(学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢)				平常点	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
プリントを配布・必要に応じてプリント配布・メジャー・三角スケール ・インテリアコーディネーター1次試験上巻					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 問題から間取り等の計画					8
2. 配置・平面図製図					8
3. 立面図・断面図製図					4
4. 矩計図製図					4
5. 梁伏せ図製図					4
6. 面積計算等					2
7. 玄関					2
8. 水まわり(トイレ・浴室・洗面)					6
9. 「テーマ」から「問い」「アイデア」への導き 3					12
10. 課題演習(1) 行動の分析					2
11. 課題演習(2) 問題点を挙げる					2
12. 課題演習(3) 改善案を考える-1					2
13. 課題演習(4) 改善案を考える-2					2
14. 課題演習(5) 発表					2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態		学科・コース
デザインⅢ			演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	2	小沼 勝也
<b>授業の目的・目標</b>					
近年需要が増えてきている、エクステリア分野への就職が有利になると同時に、就職後の実務に対応できる。					
<b>授業の概要</b>					
エクステリアプランナー3級試験に対応。エクステリアプランの作成、製図、パース、プレゼンボード、模型の制作。					
<b>成績評価の方法</b>					
学習意欲50%、課題作品評価50%				学習意欲	50%
				課題	50%
<b>使用テキスト・教材</b>					
配布プリント					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1.	3級模擬試験学科問題学習	2	16.	住宅のエクステリアプラン	2
2.	〃	2	17.	プランしたものを製図	2
3.	〃	2	18.	〃	2
4.	〃	2	19.	〃	2
5.	〃	2	20.	〃	2
6.	〃	2	21.	パース制作	2
7.	〃	2	22.	〃	2
8.	〃	2	23.	〃	2
9.	「テーマ」から「問い」「アイデア」への導き 3	2	24.	〃	2
10.	〃	2	25.	模型制作	2
11.	3級模擬試験製図問題学習	2	26.	〃	2
12.	〃	2	27.	〃	2
13.	〃	2	28.	〃	2
14.	〃	2	29.	プレゼンテーション	2
15.	住宅のエクステリアプラン	2	30.	〃	2
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※単元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
空間デザインC (建築設備)		演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	伊達 剛
授業の目的・目標					
卒業研究のための発想の仕方、論理的思考プロセスの具体化、テーマから問いへの導き方など、アイデアを導く力を向上させることができるようになる。					
授業の概要					
「卒業研究」を念頭に、「テーマ」から「アイデア」を練り上げるまでの論理的思考プロセスの方法を学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 課題 (提出率と提出された課題の完成度)				課 題	40%
2. 平常点 (主体的な授業参加度)				平常点	40%
3. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				学習意欲	20%
これらを総合的に評価。課題が未提出の場合、成績の評価は行われない。					
使用テキスト・教材					
必要に応じてプリント配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 卒業制作の実例					2
2. 卒業制作の進め方・手法					2
3. 実例と「テーマ」の考察 1					2
4. 実例と「テーマ」の考察 2					2
5. 「テーマ」から「問い」への導き方					2
6. 「テーマ」から「問い」「アイデア」への導き 1					2
7. 「テーマ」から「問い」「アイデア」への導き 2					2
8. 資料収集、データ収集、文献調査の仕方					2
9. 「テーマ」から「問い」「アイデア」への導き 3					2
10. 「テーマ」から「問い」「アイデア」への導き 4					2
11. アイデアの模索と展開 方法					2
12. 「テーマ」から「問い」「アイデア」への導き 5					2
13. 「テーマ」から「問い」「アイデア」への導き 6					2
14. アイデアの練り上げ方・まとめ方					2
15. プレゼンテーションの表現方法					2
その他			関連科目		
			卒業研究		

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態		学科・コース
ポートフォリオ制作			演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	本野 智美
<b>授業の目的・目標</b>					
2年次に制作したポートフォリオをさらにクオリティアップさせ、就職面接の際に実践的に活用できるポートフォリオの最終完成を目指す。					
<b>授業の概要</b>					
進路を意識したポートフォリオとしての、更なるブラッシュアップ。					
<b>成績評価の方法</b>					
授業への取り組みの真剣度と最終提出物での評価				学習意欲	80%
				課題	20%
<b>使用テキスト・教材</b>					
特になし					
<b>授業内容・授業計画</b>					
					時間数
1. 2年次に制作したポートフォリオのチェック～修正ポイント抽出					4
2.					
3.					
4.					
5.					
6. 各自必要とするポイントを修正していく					
7. ・各作品のコンセプト強化					
8. ・制作工程の説明方法など再度見直し					
9. ・作品の魅力をより引き出す撮影					
10. ・追加図面などの作成					
10. ・ラフスケッチなどの追加					24
11. →よりコミュニケーションがとれるポートフォリオへ進化させる					
12.					
13.					
14.					
15. 最終チェック～修正～完成度を上げる					2
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※单元ごと演習課題を実施する。			ポートフォリオ制作 I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2020年度	
				科目コード		
時間数は45分換算						
授業科目名			授業形態		学科・コース	
プレゼンテーション技法			演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	30	1	岩崎 京子	
授業の目的・目標						
インテリアコーディネーター2次試験対策にも繋がり、美しく見やすい正確なインテリア図面が描くスキルを習得する。						
授業の概要						
インテリアデザインにおける基本的な間取りの構成、ルール、を理解し、素早く綺麗に図面に表現する手法を学ぶ。						
成績評価の方法						
学習意欲、課題の評価					平常点	10%
					課題	70%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
インテリアコーディネーター2次試験過去問題集						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. インテリアプランニングの平面基礎演習						2
2. インテリアプランニングの平面基礎演習						2
3. インテリアプランニングの平面基礎演習(LDK)						2
4. インテリアプランニングの平面基礎演習(主寝室・高齢者室)						2
5. インテリアプランニングの断面図・展開図の演習						2
6. インテリアプランニングの断面図・展開図の演習						2
7. インテリアプランニングの平面基礎演習(主寝室・高齢者室)						2
8. インテリアプランニングの家具図の演習						2
9. 「テーマ」から「問い」「アイデア」への導き 3						2
10. インテリアコーディネーター二次試験過去問題演習 店舗併用住宅						2
11. インテリアコーディネーター二次試験過去問題演習 店舗併用住宅						2
12. インテリアコーディネーター二次試験過去問題演習 二世帯住宅						2
13. インテリアコーディネーター二次試験過去問題演習 二世帯住宅						2
14. インテリアコーディネーター二次試験過去問題演習 リノベーションプラン						2
15. インテリアコーディネーター二次試験過去問題演習 リノベーションプラン						2
その他				関連科目		

シラバス(授業概要)			年度	2020年度	
時間数は45分換算			科目コード		
授業科目名		授業形態	学科・コース		
卒業制作(建築計画)①		演習	インテリアデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	570	19	小沼 勝也 伊達 剛 岩崎 京子 萩原 一浩
授業の目的・目標					
<p>①2年間学んできたことの集大成であり、実社会へ踏み出す上での大きな実績をつくるための最も重要な授業である。それは自分自身の内面のことでもあるが、外部の人や企業からの評価を受ける場でもある。</p> <p>②予め素材の知識、加工の知識及び実践を経験することにより卒業研究をより幅が広くより深いものにして行く。</p> <p>③3年間の集大成である卒業制作展に向けて、展示ブースの計画。卒業制作展の搬入から設営、搬出までの一連の流れをスムーズに行えるような計画。④自分の作品をより綺麗に撮影する技術を学び、卒業制作展に活用するパネル及び写真集に使用する□</p>					
授業の概要					
<p>テーマ探し(調査・研究・資料収集)から始まり作品の制作・プレゼンテーションまでの一連の作業を長い時間をかけて完成させる。様々な素材でその素材の特徴をいかしたものを制作。作品展示のための展示計画、必要に応じ展示材料、備品の製作。</p>					
成績評価の方法					
授業に取り組む姿勢、作品の評価、プレゼン力の評価。				学習態度	50%
				作品	50%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	テーマ研究	50	16	展示会場の照明計画	2
2.	デザインコンセプトワーク	34	17	展示会場の備品計画	2
3.	デザインスケッチ・資料集め	50	18	搬入・搬出計画	4
4.	平面図	32	19	搬入準備	2
5.	展開図	30	20	絞り,シャッタースピード,ISO	2
6.	立面図・断面図・詳細図等	24	21	自分の作品の特徴を活かし,判り易くスタジオで定常光を使い撮影	8
7.	パース	40			
8.	模型制作	160			
9.	「テーマ」から「問い」「アイデア」への導き 3	10			
10.	その他のファイル・資料の整理	10			
11.	様々な素材の加工な等を実施する	2			
12.	素材の研究をレポート	58			
13.	展示会場の見学、計測、設備・備品確認	4			
14.	展示ブースの計画	8			
15.	展示ブースの備品製作	8			
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
卒業制作(建築計画)②			演習		インテリアデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	570	19	土屋 香美 小杉 陽子 長尾 隆行 小沼 勝也 宮沢 千夏子
<b>授業の目的・目標</b>					
①「モノ」と「コト」の新しい価値を提案する「ライフスタイル提案シート」を作成、発表する。実際の学科の活動で、この授業の学びの活かし方を考える。②条件を読み取る力、プランニングに必要とされる技術が身に付く。自信を持って表現した作品で、クライアントを納得させるプレゼン方法を知る。③実践的な店舗設計が行えるよう、職業感覚、空間感覚を身につける。④パースを描く技法を習得し、空間把握がしっかりできるようになる。					
<b>授業の概要</b>					
①商品開発、特に商品の価値づくりを実施し、デザイン開発のためのマーケティングの感性を育てる。取り巻く環境、市場(企業)、生活者の意識の変化に気づく力を養う。卒業研究のテーマに沿って、マーケティング活動を実施する。 ②インテリアコーディネーションの作品を制作しながら、表現方法を実践的に学び、プランニングの楽しさ、人に見せて納得させる楽しさを知る。 ③実践的な店舗設計が行えるよう、職業感覚、空間感覚を身につける。④パース技法の強化。					
<b>成績評価の方法</b>					
①出席日数、授業態度、ワークに対する積極性、展開力、②プレゼン力A2 ケント紙1枚(手描き) 又は A2サイズにレイアウトした完成品をデータ提出(校内で印刷)				平常点	50%
				学習意欲	16%
				課題	34%
<b>使用テキスト・教材</b>					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1.	デザイン開発の目的、SWOT分析	10	16	CGでのパース技法	8
2.	市場のトレンド、マップ化、分析	8	17	CGでのパース作品制作	12
3.	未来の市場と新しいライフスタイルについて	10	18	CGと手書きによるパース作品制作	10
4.	デザインアイデア発表	2	19	手書きによるパース作成(1) 日消点透視法	16
5.	外部と室内とのつながりにも配慮した計画	2	20	手書きによるパース制作(3) 二消点透視法	8
6.	課題の既存平面図をJW-CADでトレース、計画	6	21	手書きによるパース制作(4)	6
7.	各自のテーマに沿ったリフォーム案の計画	8			
8.	計画案の作図。平面図・断面図・展開図	16			
9.	「テーマ」から「問い」「アイデア」への導き 3	16			
10.	プレゼンテーションに必要な素材をレイアウト	8			
11.	プレゼンテーション	4			
12.	店舗照明の概要、事例の採集レポート	4			
13.	素材と光源の選択、調光システム、事例見学、トレース	6			
14.	ショップデザイン照明資料作成	4			
15.	実店舗の照明デザインレポート、講評	6			
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
時間数は45分換算				科目コード	
				授業科目名	
キャリアプランⅢ		講義		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	太田 稔子
授業の目的・目標					
①文章力含めたコミュニケーション能力を高める ②社会人意識を身につける ③就職に対する疑問点、不安感の解消 ④実践力をつける					
授業の概要					
自分自身の強みを知り、自己PRを实践する。 コミュニケーション能力を強化することを重視し、様々な場面で対応できる、特に就職活動に直接結び付くための社会人意識を身につける。					
成績評価の方法					
授業態度・課題提出・出席を総合的に判断する。				平常点	60%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
独自に作成したワークシート及び就職に対するマナー等 就職活動ガイドブック					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	面接官の視点 自己分析シート配布と書き方				2
2.	仕事のセルフカウンセリング 面接の流れとポイント				2
3.	面接のセオリー よく出る質問基本と意図				2
4.	自己PR事例 志望動機NGと不採用パターン				2
5.	自己分析の重要性 記入のネタを探す				2
6.	面接の種類と評価 ブレインストーミング				2
7.	グループ面接実践 面接官は何を見ているのか				2
8.	ペアワーク 「3つのキク」スキルの確認				2
9.	「テーマ」から「問い」「アイデア」への導き 3				2
10.	電話アポ、訪問等 内定までの流れと対策				2
11.	就職システムの活用方法				2
12.	履歴書作成のポイント				2
13.	就職活動の状況と対策				2
14.	〃				2
15.	〃				2
その他				関連科目	
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
産学連携プロジェクトⅣ			演習		インテリアデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	60	2	岩崎 京子 川松夕見子	
授業の目的・目標						
<p>外部とのコラボレーションにより就職後、役立つスキルが身につく。  (企画立案能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力)  ・ 日常の様々なシーンや仕事で活用できるプレゼンスキルとその考え方を理解する。・ 卒業研究や作品を、相手にわかりやすく効果的にプレゼンできるようにする。・ コンセプトを明確にし、相手が共感/納得できるストーリーに組み立て、それをスライドやファイルなどの形に落とし込んで表現する力を身につける。</p>						
授業の概要						
<p>マンションの空き部屋を利用したデザイン提案の発表。  聞く人にわかりやすく、自分の意図や狙いを効果的に伝えることができるプレゼンテーションを目的として、準備段階での情報収集・検証・シナリオ構成、実施段階での表現・伝達・質疑応答まで、プレゼンの様々な要素をシミュレーションしながら学ぶ。また、プレゼンテーションツールとしてのファイルのまとめ方を学習する。</p>						
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> <li>課題提出 (ワークシート、卒研ファイル)</li> <li>卒業研究プレゼンテーション</li> </ul>					学習意欲	50%
					作品	50%
使用テキスト・教材						
必要に応じてプリント配布						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. リノベーション計画						12
2. プレゼンシートの作成						14
3. プレゼンテーション						4
4. 授業概要説明、プレゼン自己診断、ウォーミングアップ課題						2
5. プレゼンの基本要素、卒研コンセプト整理						4
6. 中間プレゼン用パワーポイント作成						4
7. 卒研コンセプトとデザインの整合、裏づけ材料の準備						4
8. シナリオの基本形と構成						4
9. 「テーマ」から「問い」「アイデア」への導き 3						4
10. 卒研ファイルのまとめ						6
11. 応用編： ビジネスシーンでのプレゼン例、状況設定プレゼン						2
その他				関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						